

SR-0067

緊急通報用電気通信番号の取り扱い に関する調査報告書

第 1.0 版

2015 年 3 月 16 日

一般社団法人
情報通信技術委員会
番号計画専門委員会



本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	4
1. 本報告書の目的	5
2. 用語	5
3. 緊急通報の接続方式概要	6
3-1 固定電話端末発信	6
3-2 携帯電話端末発信	7
3-3 海外ローミングイン（日本国内）端末発信	9
4. 海外ローミングイン発信の問題	11
4-1 日本の緊急通報番号ダイヤル時の事象例	11
4-2 海外（自国）の緊急通報番号ダイヤル時の事象例	12
5. 緊急通報発信時の対策	12
5-1 Emergency Setup 対策例 1 ガイダンス接続	13
5-2 Emergency Setup 対策例 2 メニュー接続	13
5-3 対策の評価	14
6. 日本における番号計画の現状と今後の課題	14
6-1 「112」「911」番号の国際的な位置づけと日本における番号計画の現状	14
6-1-1 「112」番号の日本での取り扱い	15
6-1-2 「911」番号の日本での取り扱い	15
6-1-3 日本における「1XY」番号計画の留意点	16
6-2 次世代携帯電話網ローミングに向けて	16
<付録-1> 訪日外客数情報	17
<付録-2> 主な国の緊急通報番号一覧	19

<参考>

1. 国際勧告等との関係

特定の国際勧告等との関連性は持たない。

2. 改版の履歴

版数	公開日	改版内容
第1版	2015年3月16日	初版公開

3. 報告書作成部門

番号計画専門委員会

4. 本報告書の制作体制

本報告書は、平成 25 年度（2013 年度）番号計画専門委員会（WG1900）において日本国内における海外緊急通報番号の取り扱い状況を調査の上、「国内における海外緊急通報番号に関する実態調査報告書」（非公開）として取りまとめた調査報告書を原案に、公開する目的で作成したものである。

5. 参考文献

【ITU-T E.161.1】 Guidelines to select Emergency Number for public telecommunications networks

【3GPP TS22.101 V11.8.0】 Service aspects; Service principles

【3GPP TS31.102 V11.4.0】 Characteristics of the Universal Subscriber Identity Module (USIM) application

1. 本報告書の目的

番号計画専門委員会で扱う電気通信番号計画には、緊急通報に使用される電気通信番号（以下、緊急通報番号と言う。）がある。緊急通報は通常とは異なる番号計画を適用した緊急通報番号を利用し、迅速かつ確実に緊急機関へ接続することが求められ、その接続方式は、別に定める技術標準にて規定されている。一方で、特に海外ローミングを含めた携帯電話網での緊急通報番号の利用においては、緊急機関へ必ず接続できるわけではない等の課題があることがわかっている。

今後 2019 年に予定されているラグビーワールドカップや 2020 年の東京オリンピック等の日本国での開催を考慮すると、訪日外国人を含めた利便性の向上は日本国における重要な課題であり、その中のひとつの課題として、日本国における緊急通報番号の現状について把握しておくことは非常に有意義なものと考えられる。

本報告書は、番号計画の立場から現在の緊急通報の実装状況を示すと共に、日本における今後の番号計画上の留意点についてとりまとめたものである。

2. 用語

用語	解説
184 発信電話番号非通知機能	発信元の電気通信番号を着信先に通知しない機能を利用するための番号。 緊急通報の場合、発信元の位置情報を着信先(緊急通報の着信先となる警察機関、海上保安機関又は消防機関に限る。)に通知しない。
186 発信電話番号通知機能	発信元の電気通信番号を着信先に通知する機能を利用するための番号。 緊急通報の場合、発信元の位置情報を着信先(緊急通報の着信先となる警察機関、海上保安機関又は消防機関に限る。)に通知する。
発ユーザ種別	発側回線の種別を示す情報。 「一般発ユーザ」:一般回線 「優先発ユーザ」:災害時優先電話回線 「公衆電話」:公衆電話回線 等が使用される。

3. 緊急通報の接続方式概要

本章では、日本における基本的な緊急通報の接続方式の概要について説明する。

3-1 固定電話端末発信

固定電話端末に係る緊急通報の接続方式は以下の通りである。

① ユーザダイヤル

ー 固定電話で使用する日本の緊急通報番号は以下の通りである。

- 110 ー 警察機関
- 118 ー 海上保安機関
- 119 ー 消防機関（救急・消防）

ー 緊急通報の発信においても”184”（発信電話番号非通知機能）、”186”（発信電話番号通知機能）のダイヤルが許容される。

② ユーザ網インターフェース（UNI）

固定電話網におけるユーザ網インターフェース（UNI）において、ダイヤルされた番号は通常の発信と同様に、そのままネットワークに伝達する。

③ 網間インターフェース（NNI）

緊急通報の接続のための網間接続インターフェース（NNI）は No.7 信号方式を前提とする。インターフェースの概要は以下の通りである。

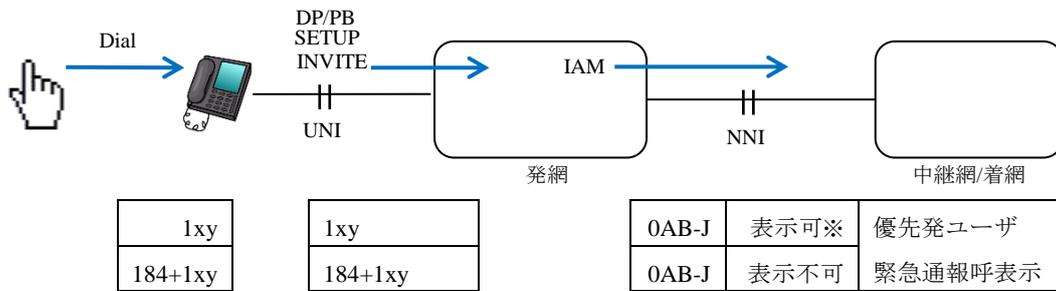
ー 緊急機関へ接続する接続番号は、「0AB-J」番号を設定する。

ー 加入契約により、発信者番号表示を常に「表示不可」¹とすることが可能であるが、緊急通報においては、発信者番号表示の事前登録の内容に係らず、ダイヤルされた番号にて発信者番号の表示可否を判断する。ダイヤル番号の先頭に“184”を付与された場合のみ発信者番号の表示識別を「表示不可」に設定する。これ以外は、発信者番号の表示識別を「表示可」に設定する。

ー 緊急通報の場合、発信者が「一般発ユーザ」であっても、ネットワーク内で優先的な取扱いを行うため、発ユーザ種別を「優先発ユーザ」に書き換える。

ー 緊急通報番号を 0AB-J 番号へ変換したことを示す「緊急通報呼表示」を設定する。本情報が設定されない 0AB-J 番号での緊急機関への着信は、許容されない（欠番）。

¹ ダイヤル番号の先頭に“186”を付与することで、発信者番号を「表示可」とする（呼毎表示）。



※ 加入契約に関係なくダイヤル番号のみで判定する

図 3.1/SR-0067 固定電話網の接続概要図

3-2 携帯電話端末発信

携帯電話端末に係る緊急通報の接続方式は以下の通りである。

① ユーザダイヤル

ー 携帯電話で使用する日本の緊急通報番号は以下の通りである。

- 110 ー 警察機関
- 118 ー 海上保安機関
- 119 ー 消防機関（救急・消防）

ー 緊急通報の発信においても”184”（発信電話番号非通知機能）、”186”（発信電話番号通知機能）のダイヤルを許容する。

② ユーザ網インターフェース（UNI）

携帯電話による緊急通報の接続に際しては、ユーザ網インターフェース（UNI）において、ダイヤルされた番号が緊急通報番号であるか否かを端末が識別し、ネットワークを起動する。

携帯電話端末における緊急通報の識別及びネットワークの起動方式は以下の通りである。

②-1 携帯電話端末で緊急通報と認識される場合

ー 携帯電話端末は、端末に挿入される USIM カード内に緊急通報番号（Emergency Call Code）及び緊急呼種別（Emergency Service Category）が登録されており、USIM カード内の登録内容とダイヤルされた番号が一致した場合に緊急通報であることを認識する。

日本の携帯電話事業者が発行する USIM カードには、日本の緊急通報番号である以下の情報が登録されている。

緊急通報番号 (Emergency Call Code)	110FFF ※	118FFF ※	119FFF ※
緊急呼種別 (Emergency Service Category)	警察 (Police)	海上 (Marine Guard)	救急/消防 (Ambulance / Fire Brigade)

※緊急通報番号は最大 6 桁が登録可能。

－ 「112」「911」番号は、USIM カードに登録されていなくても、発信時に端末において緊急通報番号であると認識される。ただし、この場合、「緊急呼種別」は指定されない。

－ ダイヤルされた番号が緊急通報番号の場合、通常の起動信号 (Normal SETUP) とは異なる緊急通報用起動信号 (Emergency SETUP)²により、緊急機関への接続を要求する。

②-2 携帯電話端末で緊急呼と認識されない場合

②-1 においてダイヤルされた番号が緊急通報番号ではない場合、ダイヤル番号を含む通常の起動信号により、ネットワークを起動する。日本においては、緊急通報であっても、ダイヤル番号の先頭に“184”または、“186”を付与することで、発信者番号の表示可否を要求することができる。このため、“184”または、“186”が付与された場合は、ダイヤルされた番号をネットワークにそのまま通知するため、携帯電話端末で緊急通報番号と認識させないことにより、ダイヤル番号を含む通常の起動信号により、ネットワークを起動する。

③ 網間インターフェース (NNI)

緊急通報の接続のための網間接続インターフェース (NNI) は No.7 信号方式を前提とする。インターフェースの概要は以下の通りである。

－ ダイヤル番号を含まない緊急通報用起動信号の場合、「緊急呼種別」により、接続する緊急機関を決定し、接続する。ただし、日本の緊急通報番号ではない「112」「911」のダイヤルにおいては、端末は、緊急通報番号と認識し、緊急通報用起動信号でネットワークを起動するが、「緊急呼種別」の情報がないため接続先緊急機関を特定できず、多くの場合接続されない³。

－ ダイヤル番号を含む通常の起動信号の場合、ダイヤル番号により、接続する緊急機関を決定する。

－ 緊急機関へ接続するための網間の接続番号は、「0AB-J」番号を設定する。

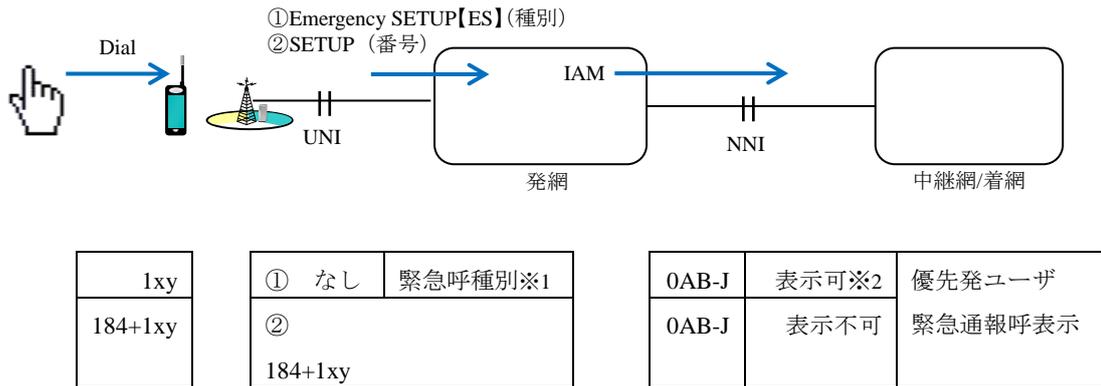
－ ネットワークへの事前登録により、発信者番号表示を常に「表示不可」とすることが可能であるが、緊急通報においては、発信者番号表示の事前登録の内容に係らず、ダイヤルされた番号にて発信者番号の表示可否を判断する。ダイヤル番号を含まない緊急通報用起動信号での起動の場合は、発信者番号を「表示可」に設定する。ダイヤル番号を含む通常の起動信号の場合は、ダイヤル番号の先頭に“184”を付与された場合のみ発信者番号の表示識別を「表示不可」に設定する。これ以外は、発信者番号の表示識別を「表示可」

² 緊急通報用起動信号は、ダイヤルされた番号が設定されず、「緊急呼種別」により接続先緊急機関を指定する。

³ 海外ローミングイン端末からの緊急通報発信の対策により、接続される場合がある (5-2 項参照)。

に設定する。

- ー 緊急通報の場合、発信者が「一般発ユーザ」であっても、ネットワーク内で優先的な取扱いを行うため、発ユーザ種別を「優先発ユーザ」に書き換える。
- ー 緊急通報番号を 0AB-J 番号へ変換したことを示す「緊急通報呼表示」を設定する。本情報が設定されない 0AB-J 番号での緊急機関への着信は、許容されない（欠番）。



※1 警察/救急・消防/海保

※2 ネットワーク設定に関係なくダイヤル番号のみで判定する

図 3.2/SR-0067 携帯電話網の接続概要図

3-3 海外ローミングイン（日本国内）端末発信

海外ローミングイン端末に係る緊急通報の接続方式は以下の通りである。

① ユーザダイヤル

ー 海外ローミングイン端末からの緊急通報のダイヤルは、自国（ホーム国）の緊急通報番号（1XY 等）による接続が可能である。ただし、環境によっては接続先緊急機関が特定できず、接続できない場合がある（具体的な例は、第 4 章で説明する）。

ー 海外ローミングイン端末からの緊急通報は、ローミングイン国（ビジター国）の緊急通報番号による接続が可能である。日本の緊急通報用電気番号は以下の通りである。

- 110 ー 警察機関
- 118 ー 海上保安機関
- 119 ー 消防機関（救急・消防）

ただし、環境によっては接続先緊急機関が特定できず、接続できない場合がある（具体的な例は、第 4 章で説明する）。

ー 緊急通報の発信においても”184”（発信電話番号非通知機能）、”186”（発信電話番号通知機能）のダイヤルを許容する。ただし、日本の緊急通報番号によるダイヤルに限る。

② ユーザ網インターフェース (UNI)

携帯電話網による緊急通報の接続に際しては、ユーザ網インターフェース (UNI) において、ダイヤルされた番号が緊急通報番号であるか否かを端末が識別し、ネットワークを起動する。

海外ローミングイン端末における緊急通報の識別及びネットワークの起動方式は以下の通りである。

②-1 海外ローミングイン端末において緊急通報と認識される場合

ー 携帯電話端末は、端末に挿入される USIM カード内に緊急通報番号 (Emergency Call Code) 及び緊急呼種別 (Emergency Service Category) が登録されており、USIM カード内の登録内容とダイヤルされた番号が一致した場合に緊急通報と認識する。海外ローミングイン端末の USIM カードには自国の緊急通報番号および緊急呼種別に係る情報が登録されており、ダイヤルされた番号が USIM に登録された自国の緊急通報番号と一致した場合に緊急通報と認識する。

ー 「112」「911」番号については、USIM カード内に緊急通報番号として登録されていなくても、発信時に端末において緊急通報番号であると認識される。ただし、この場合、「緊急呼種別」の指定はない。

ー ダイヤルされた番号が緊急通報番号の場合、通常の起動信号 (Normal SETUP) とは異なる緊急通報用起動信号 (Emergency SETUP) により、緊急通報の接続を要求する。

②-2 携帯電話端末で緊急通報と認識されない場合

②-1 においてダイヤルされた番号が緊急通報番号ではない場合、ダイヤル番号を含む通常の起動信号により、ネットワークを起動する。海外ローミングイン端末においては、日本の緊急通報番号をダイヤルすることで通常の起動信号により、ネットワークを起動することができる。

③ 網間インターフェース (NNI)

緊急通報の接続のための網間接続インターフェース (NNI) は No.7 信号方式を前提とする。インターフェースの概要は以下の通りである。

ー ダイヤル番号を含まない緊急通報用起動信号の場合、「緊急呼種別」により、接続する緊急機関を決定し、接続する。ただし、端末が設定する「緊急呼種別」の設定によっては、緊急機関を特定できず、多くの場合接続されない (具体的な例については、第 4 章で説明する)。

ー ダイヤル番号を含む通常の起動信号の場合、ダイヤル番号により、接続する緊急機関を決定する。

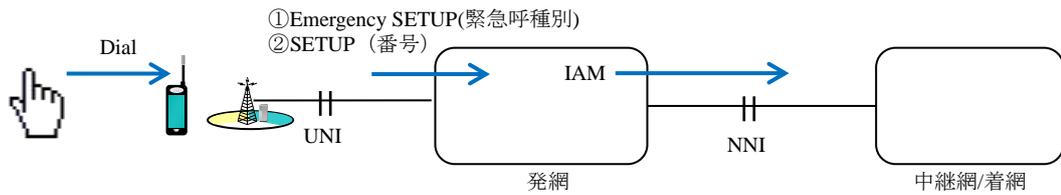
ー 緊急機関へ接続する着信番号は、「0AB-J」番号を使用する。

ー ダイヤル番号を含まない緊急通報用起動信号での起動の場合は、発信者番号を「表示可」に設定する。ダイヤル番号を含む通常の起動信号の場合は、ダイヤル番号の先頭に“184”を付与された場合のみ発信者番号の表示識別を「表示不可」に設定する。これ以外は、発信者番号の表示識別を「表示可」に設定する。

ー 緊急通報の場合、発信者が「一般発ユーザ」であっても、ネットワーク内で優先的な取扱いを行うため、発ユーザ種別を「優先発ユーザ」に書き換える。

ー 緊急通報番号を 0AB-J 番号へ変換したことを示す「緊急通報呼表示」を設定する。本情報が設定されな

い 0AB-J 番号での緊急機関への着信は、許容されない（欠番）。



1XY 等※1	① なし	緊急呼種別※2	0AB-J	表示可	優先発ユーザ 緊急通報呼表示
1xy	② 1xy		0AB-J	表示可	
184+1xy	②	184+1xy	0AB-J	表示不可	

※1：自国の緊急通報番号
※2 警察/救急/消防/海保 等

図 3.3/SR-0067 携帯電話網(海外ローミングイン)の接続概要図

4. 海外ローミングイン発信の問題

海外ローミングイン端末からの緊急通報の発信は、自国の緊急通報番号あるいは、ローミング先である日本の緊急通報番号がダイヤルされることが想定される。しかしながら、海外ローミングイン端末からの緊急通報の発信においては、自国の緊急通報番号と日本の緊急通報番号の組み合わせによっては、接続する緊急機関を特定できない等の理由により緊急通報の接続ができない場合がある。

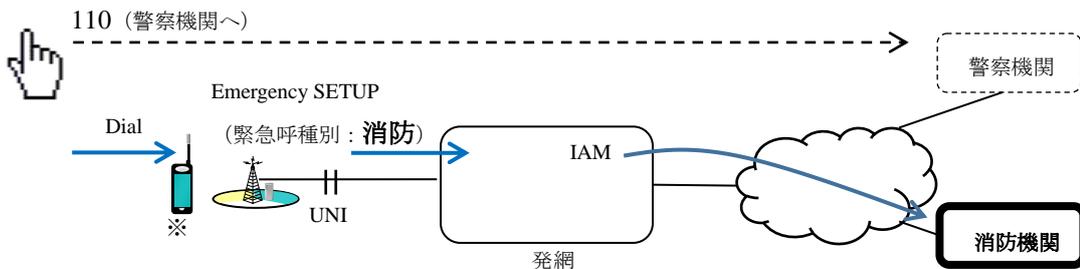
本章においては、その具体的な事象例について説明する。

4-1 日本の緊急通報番号ダイヤル時の事象例

日本の緊急通報番号をダイヤルする場合、自国で使用される緊急通報番号と重複する場合においては、目的と異なる緊急機関への接続あるいは、接続する緊急機関が特定できず、接続できない問題がある。

① <事例 1> 警察機関への接続番号（110）で消防機関へ接続される例

日本の警察機関へ接続する番号である「110」が自国において消防機関へ接続する番号である場合、USIMカード内に「110」が消防機関への接続である旨が登録されている。この場合、携帯電話端末は、ダイヤル番号を含まない緊急通報用起動信号により、「緊急呼種別：消防」を指定した接続を要求し、消防へ接続される。



※「110」が自国で消防機関への接続用番号

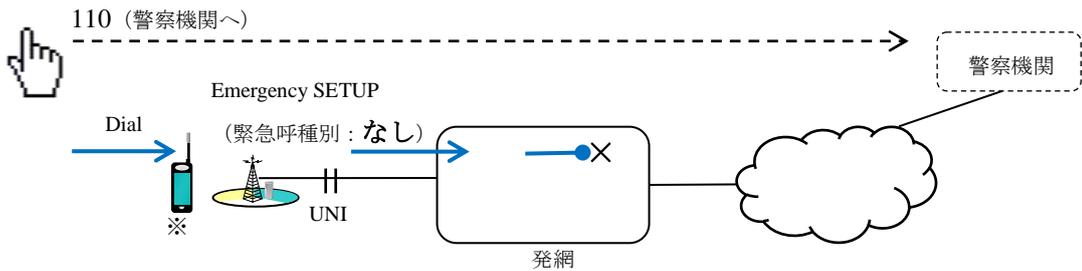
図 4.1.1/SR-0067 日本の「110」ダイヤルで異なる緊急機関へ接続されるケース

② <事例2> 警察機関への接続番号（110）で緊急機関が特定できない例

日本の警察機関へ接続する番号である「110」について、自国の緊急通報番号「110」に係る「緊急呼種別」が日本と異なる場合（例えば「緊急呼種別：なし」（総合受付）の場合）、接続する緊急機関を特定できない。

日本国内の緊急呼種別の組み合わせは以下のとおりである。

- 警察機関への接続 : 緊急呼種別：「警察」
- 海上保安機関への接続 : 緊急呼種別：「海上保安」
- 消防機関への接続 : 緊急呼種別：「救急」「消防」



※「110」が自国で緊急機関総合受付への接続用番号

図 4.1.2/SR-0067 日本の「110」ダイヤルで接続できないケース

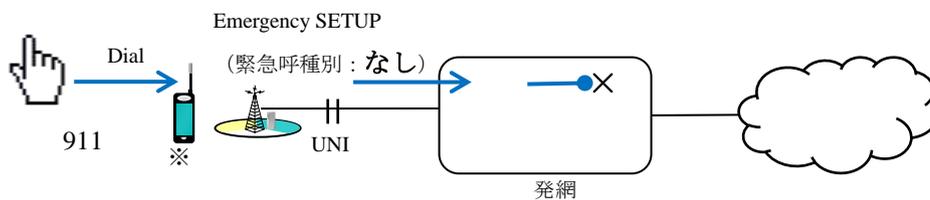
4-2 海外（自国）の緊急通報番号ダイヤル時の事象例

自国の緊急通報番号をダイヤルする場合、日本の緊急通報に係る「緊急呼種別」と異なる場合においては、接続する緊急機関が特定できない。

① <事象例> 自国の緊急通報番号による接続において、緊急機関が特定できず、接続できない例

自国の緊急機関へ接続する番号が日本の緊急機関の「緊急呼種別」と異なる場合（例えば「緊急呼種別：なし」（総合受付）の場合）、接続する緊急機関を特定できない。

「112」「911」は、多くの国で緊急通報番号として使用されているが、多くの場合、あらゆる緊急通報を受け付ける「総合受付」として使用されており、発信時、特定の緊急機関を指定する「緊急呼種別」の設定がない。



※自国の緊急通報番号「911」（総合受付）

図 4.2.1/SR-0067 自国の緊急通報番号で接続できないケース

5. 緊急通報発信時の対策

第4章のとおり、日本国内における海外ローミングイン端末からの緊急通報の発信は、ローミング先であ

る日本の緊急通報番号のダイヤルあるいは、自国の緊急通報番号のダイヤルで発信することができるが、何れのダイヤルであっても接続する緊急機関を特定できない場合がある。現状、全ての海外ローミングイン端末に共通して、確実に目的の緊急機関へ接続できる緊急通報番号は存在しない⁴。

本章においては、日本国内において海外ローミングイン端末からの発信で接続先緊急機関を特定できない場合、ネットワーク側で対応できる対策例を示す。

5-1 Emergency Setup 対策例 1 ガイダンス接続

接続先緊急機関が特定できない場合、音声ガイダンスへ接続する方法

- ① 音声ガイダンスに接続し、日本の緊急通報番号を案内する。ただし、自国の緊急通報番号と日本の緊急通報番号が重複し、「緊急呼種別」の不一致が原因である場合、当該端末では日本の緊急通報番号であっても緊急機関へ接続できない(4-1項 「日本緊急通報番号ダイヤル時の事象例」参照)。このため、公衆電話等の固定電話端末からの発信を案内する必要がある。
- ② ダイヤルされた番号は使用されていない旨を案内する。通常の誤ダイヤル(欠番)と同等に扱う。

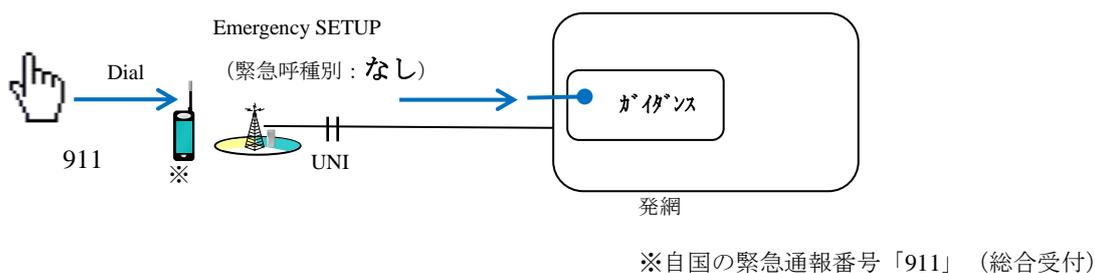


図 5.1/SR-0067 Emergency SETUP 対策例 1 ガイダンス接続

5-2 Emergency Setup 対策例 2 メニュー接続

音声ガイダンスにより、各緊急機関へ接続するためのメニュー番号の押下を案内し(例:警察機関「1」)、入力された番号を分析することで接続先緊急機関を識別し、接続する対策である。この場合、利用者は呼を切断することなく目的の緊急機関へ接続される。

⁴ 現状、唯一確実に接続できる手段としては、186 (184) +1xy (6桁) をダイヤルする方法がある。

(現在、1861xy の6桁を緊急通報番号として使用している国はない)。ただし、本来、緊急通報番号に186を付与する必要はない。

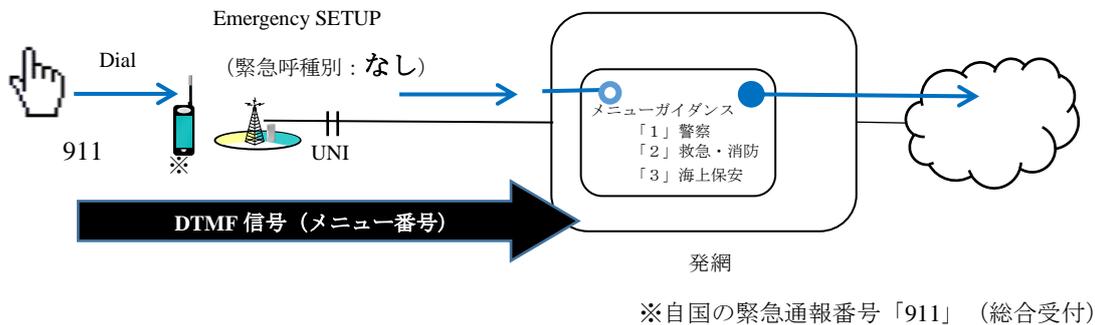


図 5.2/SR-0067 Emergency SETUP 対策例 2 メニュー接続

5-3 対策の評価

<対策例 1>

技術的には、比較的容易に実現できる対策である。しかしながら、掛け直しを必要とする等、緊急性を要する通信としては、必ずしも利便性が高いとは言えない。

①の対策においては、緊急機関への接続手段を案内するものの、近年、固定電話（特に公衆電話）の数は減少し、容易に掛け直しができるわけではない。②の対策においては、接続手段そのものをユーザ自身で知得する必要がある。

<対策例 2>

技術的には、特別な機能を具備する必要がある、難易度の高い対策である。接続に時間を要するというデメリットがあるが、掛け直しを必要としないというメリットがあると言える。

現在、ネットワーク側で技術的に可能な対策は、上記のとおりであるが、何れも使用されているガイダンス言語は「日本語」もしくは、「英語＋日本語」が一般的である。近年、非英語圏からの訪日外客数が多くを占める状況を考えると、何れの対策も必ずしも有効な対策とは言えない。ただし、言語の多言語化においては、設備リソースの問題（長文ガイダンス）あるいは、言語選択方式（MCCよりホーム国言語の識別等も考えられる）等、技術的な課題が多く、ネットワーク側で全てを対策するには限界があると言える。

6. 日本における番号計画の現状と今後の課題

6-1 「112」「911」番号の国際的な位置づけと日本における番号計画の現状

「112」「911」番号は、多くの国で緊急通報番号として使用されている。また、多くの場合、緊急通報機関の「総合受付」として利用されており、日本の緊急機関の区分け（「警察」「救急・消防」「海上保安」とは異なることが多い。

ITU-T E.161.1「Guidelines to select Emergency Number for public telecommunications networks」では、「112」「911」の取り扱いを以下の通り、推奨している。

- 緊急通報番号を最初に（これから）導入を計画している場合、「112」「911」の使用を推奨している。
「A Member State that is planning to introduce an emergency number could use either 112 or 911, in adherence with

applicable regulations concerning emergency numbers.」

一 第2緊急通報番号の導入を計画している場合（例えば、海外からの渡航者向け等）、「112」「911」の使用を推奨している

「A Member State that is planning to introduce a second alternative emergency number could use either 112 or 911, or both, which should be routed to the existing emergency number. A second alternative emergency number facilitates, for example, emergency calling by travellers visiting the country.」

また、ITU-T E.161.1では、第3章で述べたとおり、GSM/UMTSシステムにおいて、「112」「911」を端末自体が緊急通報番号と認識することが記述されている。

「For mobile equipment (ME) based on the GSM/UMTS system, there is a built-in recognition of the emergency numbers 112 and 911.」

6-1-1 「112」番号の日本での取り扱い

日本の電気通信番号計画においては、1XY（Z）を特殊サービス向け電気通信番号として使用している。ただし、現在、「112」番号の使用目的は、規定されていない（保留）⁵。

【携帯電話網】

携帯電話網（ネットワーク側）においては、「112」番号は使用されていないが、第3章のとおり、携帯電話端末において「112」は緊急通報番号と認識し、緊急通報用起動信号（ダイヤル番号を含まない）でネットワークを起動するため、「112」番号自体をネットワークへ伝達する手段はない。このような状況から、少なくとも携帯電話網においては、「112」番号を緊急通報番号目的以外に使用することはできない。

【固定電話網】

固定電話網において「112」番号は、使用されていない⁵。したがって、現状「112」ダイヤルは「欠番」扱いとしていることが多い。携帯電話網においては緊急通報番号目的以外に使用できない番号であることから、将来にわたって他の目的で本番号を使用することは好ましくない。

6-1-2 「911」番号の日本での取り扱い

海外においては、「N11」3桁番号空間を特殊サービス向け電気通信番号として使用しているケースがある。現在、日本の電気通信番号計画においては、「N11」の3桁番号空間は使用していない。

【携帯電話網】

携帯電話網（ネットワーク側）においては、「911」は使用されていないが、第3章のとおり、携帯電話端末において「911」は緊急通報番号と認識し、緊急通報用起動信号でネットワークを起動する。

【固定電話網】

固定電話網において「911」番号自体は、使用されていない。しかしながら、固定電話網の市内通話においては、市外局番を省略し、市内局番からのダイヤルが許容されており、市内局番が「911」で始まるダイ

⁵ 特定のサービス「共同相互通話」での使用を許容している。ただし、サービス終了が予定されている。

ヤル手順が存在する。したがって、現状、「911」ダイヤル（3桁ダイヤル）は、発信するエリア（市内局番の有無）によって異なることが考えられるが、多くの場合、ダイヤル桁数不足と判断される（不接音：ビジートーン）。

6-1-3 日本における「1XY」番号計画の留意点

日本においては、「1XY」番号空間を特殊サービス向け電気通信番号として割り当てられており、緊急通報番号も本番号空間を利用している。一方、海外の多くの国においても「1XY」番号空間を特殊サービス用番号計画として使用しており、同様に緊急通報番号も本番号空間を利用している。携帯電話網における緊急通報のしくみを考慮すると、海外を含め緊急通報番号として使用されている「1XY」番号は、当該番号を使用している国からのローミングイン端末では利用できないことに注意しなければならない。したがって、今後、1XY 番号空間を利用し新たなサービスを提供する場合、特に海外からの渡航者を対象に含めたサービスに利用する場合は、十分に注意した上で番号の割り当てを考えなければならない。

例) 「117: 時報サービス」 117 を緊急通報番号として利用している国からのローミングイン端末では利用できない。

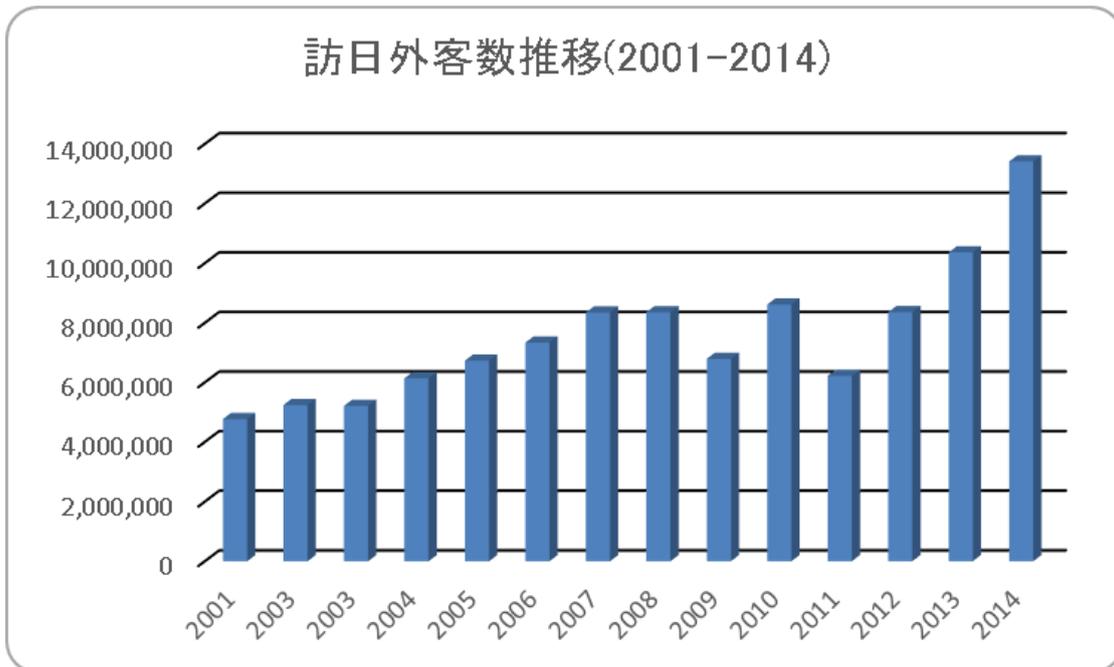
6-2 次世代携帯電話網ローミングに向けて

次世代音声携帯電話網（VoLTE 等）における海外携帯電話事業者網との IP による相互接続及び海外ローミング方式は現在検討が進んでいる。また、海外ローミングインにおける緊急通報接続方式についても同様である。ローミングインでの緊急通報接続の基本的な考え方は、現在の 3G 網同様の方式に基づくものと想定されるが、その実装方法については、今後、各社で検討が具体化する。3G 網における海外ローミング端末に対する扱いは、各通信事業者において各々異なっているのが現状であるが、次世代携帯電話網時代においては、同一端末で複数の事業者を都度選択可能なケースも考えられ、可能な限り事業者間で統一的な扱いとなることを望む。

<付録－１> 訪日外客数情報

【訪日外客数推移】

2014年の訪日外客数は前年比29.4%増の1,341万4千人となり、これまで過去最高であった2013年の1,036万4千人を300万余り上回った。10年前に比べると2倍以上に伸びている状況にある



訪日外国人数の推移 出典:日本政府観光局(JNTO)

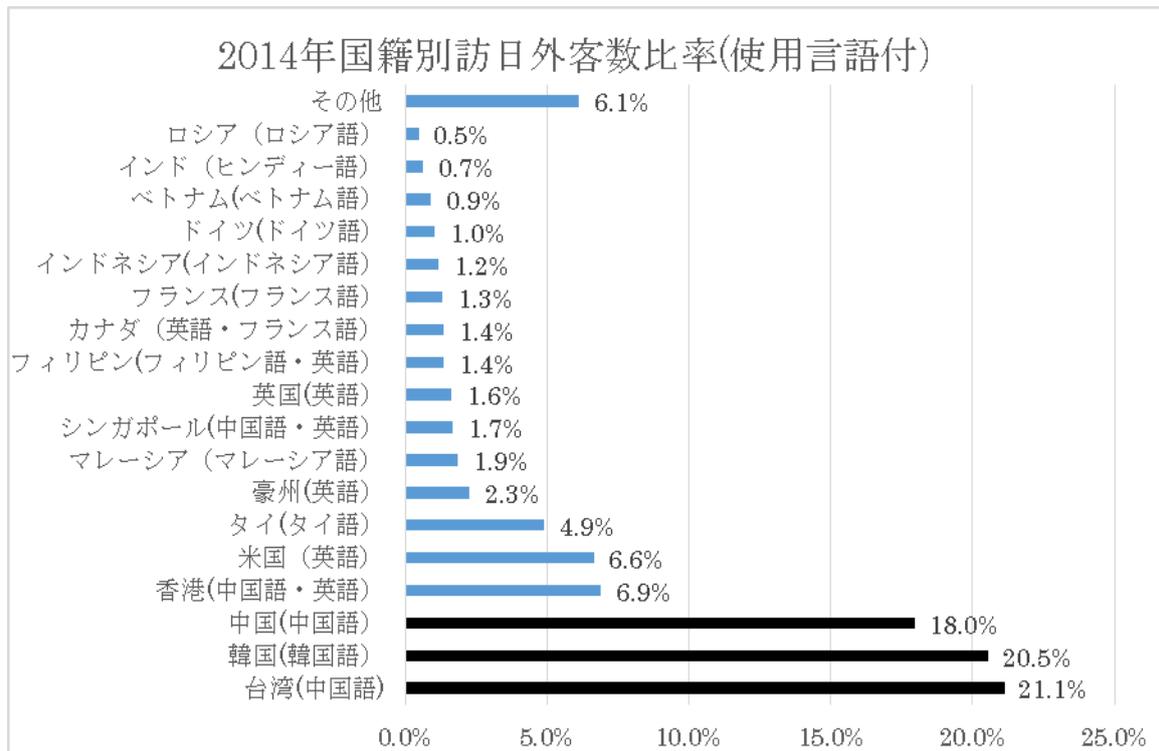
【国籍別訪日外客数】

2014年に国籍別訪日外客数は、主要18市場のうち、英国、ロシアを除く16市場が年間での過去最高を記録した。また、ロシアを除く17市場が前年比2桁増の伸びを示した。

国・地域	Country/Area	総数 Total		
		2013年	2014年	伸率(%)
総数	Grand Total	10,363,904	13,413,600	29.4
台湾	Taiwan	2,210,821	2,829,800	28.0
韓国	South Korea	2,456,165	2,755,300	12.2
中国	China	1,314,437	2,409,200	83.3
香港	Hong Kong	745,881	925,900	24.1
米国	U.S.A.	799,280	891,600	11.6
タイ	Thailand	453,642	657,600	45.0
豪州	Australia	244,569	302,700	23.8

マレーシア	Malaysia	176,521	249,500	41.3
シンガポール	Singapore	189,280	227,900	20.4
英国	United Kingdom	191,798	220,100	14.8
フィリピン	Philippines	108,351	184,200	70.0
カナダ	Canada	152,766	182,900	19.7
フランス	France	154,892	178,600	15.3
インドネシア	Indonesia	136,797	158,700	16.0
ドイツ	Germany	121,776	140,200	15.1
ベトナム	Vietnam	84,469	124,300	47.2
インド	India	75,095	87,900	17.1
ロシア	Russia	60,502	64,100	5.9
その他	Others	686,862	823,100	19.8

国籍別訪日外国人数の推移 出典:日本政府観光局(JNTO)



上位3か国(非英語圏)で全体の約60%を占めている。

<付録-2> 主な国の緊急通報番号一覧

アジア

国	警察	救急	消防	海保
アラブ首長国連邦	999,112	998,999	997	996
	112			
イスラエル	100	101	102	-
イラン	110	115	125	-
インド	100	102	101	-
オマーン	999,112			-
カタール	999,112(mobile)			
キプロス	112			-
	112		199	
シンガポール	999	995	999	-
スリランカ	119	110		-
タイ	191	1669	199	-
韓国	112	119		-
台湾	110	119		-
中国	110	120	119	-
トルコ	155	112	110	-
ネパール	100	102	101	-
パキスタン	15	1122	16	-
フィリピン	117			-
ベトナム	113	115	114	-
香港	999			-
マカオ	999			-
マレーシア	999			-
ミャンマー	199			-
モンゴル	105			-
	102	103	101	
レバノン	112,160	140	175	-

ITU-T E.129 他

アフリカ

国	警察	救急	消防	海保
ウガンダ	112,999	911	112,999	-
エジプト	122	123	180	-
ガーナ	191	193	192	
ザンビア	991,999(mobile),112(mobile)			-
	911	991	993	
ジブチ	17	19	18	-
ジンバブエ	999,112(mobile)			-
	995	994	993	
チュニジア	193,197	190	198	-
マリ	4	15	18	-
		112		
南アフリカ共和国	112			-
モロッコ	19,177, 112(mobile)	15		-
ルワンダ	112	912	112	-

ITU-T E.129 他

ヨーロッパ

国	警察	救急	消防	海保
アイスランド	112			-
アイルランド	112			-
アルバニア	112			
	129	127	128	125
イギリス	999,112			-
イタリア	112			1530
	113	118	115	
ウクライナ	112			-
	102	103	101	
エストニア	110	112		-
オーストリア	133	144	122	
オランダ	112			-
ギリシャ	112			108
	100	166	199	
クロアチア	192	94	93	9155
		112		
スイス	112			-
	117	144	118	
スウェーデン	112			-

スペイン	112			-
	091	061	112	
スロバキア	112			-
	158	155	150	
スロベニア	112			-
	113	112		
セルビア	92,192	94,194	93,193	-
チェコ	158	155	150	-
デンマーク	112			-
ドイツ	110	112		
ノルウェー	112	113	110	-
ハンガリー	112			-
	107	104	105	
フィンランド	112			-
フランス	112			-
	17	15	18	
ブルガリア	112			-
	166	150	160	
ベラルーシ	102	103	101	-
ベルギー	112			-
	101	100		
ポーランド	112			-
	997	999	998	
ボスニア	122	124	123	-
ポルトガル	112			-
マルタ	112			-
	191	196	199	
モルドバ	902	903	901	-
ラトビア	112			-
	110,02	113,03	01	
リトアニア	112			-
	02,102,022	03,103,033	01,101,011	
ルーマニア	112			-
ルクセンブルク	113	112		
ロシア	2	3	1	-

ITU-T E.129 他

オセアニア

国	警察	救急	消防	海保
オーストラリア	0,112(mobile)			-
ニュージーランド	111			-
バヌアツ	11	112	113	
フィジー	000,911			-
	917,919	000,911		

ITU-T E.129 他

北アメリカ

国	警察	救急	消防	海保
アメリカ合衆国	911			-
カナダ	911			-

ITU-T E.129 他

中央アメリカ

国	警察	救急	消防	海保
エルサルバドル	911			-
	911	913		
コスタリカ	911,112			-
ジャマイカ	110			-
	112,119	110		
ドミニカ共和国	999			-
パナマ	911			-
	104	911	103	
バルバドス	211,911	511	311,911	-

ITU-T E.129 他

南アメリカ

国	警察	救急	消防	海保
アルゼンチン	101,911	107	100	-
ウルグアイ	911			-
ガイアナ	911	913	912	-
コロンビア	123			-
スリナム	111,115	113	110	-
チリ	133	131	132	-
ブラジル	190	192	193	-
ベネズエラ	171			-
ペルー	111			-
	105	117,106	116	
ボリビア	911			-
	110	160	119	

ITU-T E.129 他